

## 令和2年度計画護衛艦6番艦 命名・進水式 艦名「あがの」

令和4年12月21日（水）、長崎造船所（三菱重工業（株））にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している令和2年度計画護衛艦6番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は井野防衛副大臣の出席を得て、西佐世保地方総監執行のもと三島防衛技監、酒井海上幕僚長、伊藤九州防衛局長、久澤長崎防衛支局長をはじめ防衛省・自衛隊及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々に行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国家吹奏に引き続き、井野防衛副大臣が命名書を読み上げ、「あがの」と命名されました。「あがの」は福島県を源流とし、新潟県を通して日本海に注ぐ一級河川の阿賀野川に由来しています。また、この艦名は、旧海軍の阿賀野型軽巡洋艦「阿賀野」に続き2代目になります。

命名式に引き続き、長崎造船所立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、井野防衛副大臣が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞い艦番号6「あがの」は進水しました。

「あがの」は令和6年3月就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲国家吹奏



▲支綱切断



▲進水式（護衛艦「あがの」が進水）